



おおにしの笑顔

第8号 令和2年9月10日 文責 恩田

- ⑥ もいやりのある正しい子
- ⑥ おきな声であいさつする子
- ⑥ んたい強くかしこい子
- ⑥ っかり体をきたえる子

2学期始業式の話「我慢と強さ」について・「防災の日」について

2学期の始業式は感染症予防・熱中症予防のために、放送で行いました。そのとき校長から子供たちに話したことの概要を掲載します。ご家庭でも話題にいただければと思います。

1. 「我慢と強さ」について

この夏休みは短かかったり新しい生活様式に気をつけたりで、やりたいことが十分にできず、我慢をすることもあったかと思います。でも、人は、我慢をした分、心が強くなっています。そして、我慢をして強くなった分、人に優しくできるようになります。2学期も制限のある生活が続き、我慢をしなければならないこともあると思います。そのとき、その分、みんなの心は強くなります。心が強くなった分、優しくなれる。そして、さらに、我慢は我慢でなくなり、なんでもないへいちゃらなことになります。2学期は、新しい生活様式を取り入れて行事ができるように、西小の先生たちが一生懸命考えて準備をしてくれています。去年までとは行事も少し違う形になりますが、今年の新しい形をぜひ楽しんでほしいと思います。友達と助け合い協力して一生懸命取り組んでください。

2. 「防災の日」について

1923年9月1日、日本で関東大震災というとても大きな地震があって、東京を中心に非常に多くの被害者が出ました。1959年の9月に伊勢湾台風というとても大きな台風があって、たくさんの被害者がでました。このことをきっかけに、1960年に9月1日を「防災の日」と決めて、国民みんなで防災の意識を高めようという日にしました。

2011年3月11日、東日本大震災というとても大きな地震があって、そのときも多くの被害者がありました。このとき、ずいぶん長いこと学校に行けなくなってしまった子がたくさんいました。その子たちがようやく学校に行けるようになったときに、ものすごく喜んで嬉しそうにしていた様子が新聞やテレビで報道されたのを、校長先生はよく憶えています。

防災の日を機会に、次の4つのことを覚えていてください。

1. 地震などの急な災害が起こったときどうするのか、家の人ともよく話あっておく
2. 災害の時に誰とでも助け合えるように、日頃からみんなと仲良く協力している。
3. 災害の時でも、お互いに思いやりの心もち、冷静に行動できるようにする。
4. 普段から命を大切にする。～ 命を大切にすることというのは、一生懸命生きることです。
一生懸命色々な事を頑張ることです。

お知らせ・お願い～9月16日・18日の授業参観日について

○教室・廊下・ベランダのスペースは広くありません。「密」を避けるために、お子さん1名につき参観者は1名までをお願いします。(ご両親とも参観したい場合は、お二人で時間をずらして参観してください。)

○例年の授業参観とは事情が異なりますので、参観を希望される場合のみご来校いただき、廊下等での会話は控えていただければと思います。

○ただし、1年生と1・2年生の日本語学級通級児の保護者の方には、学校生活についての大切なお話があるので懇談会を行います。懇談会には是非1名参加していただきますようお願いいたします。

○教室入り口に手指消毒用のアルコールを設置しますので、ご利用ください。その他、「8月24日付けの授業参観のお知らせの通知」にあるように、「感染症予防」および「学校周辺の交通安全」等についてご協力をお願いします。

※学校では、文部科学省からの最新の諸通知に則り、感染症予防対策を行った上で、可能な限り通常の教育活動を行うように努めています。